

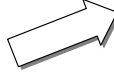
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	05-02-01-02
事務事業名	国際交流ヴィラ管理事業		根拠法令・要綱等
事業開始年度	平成元年		問担当課(室)
大項目 基本目標	住民主体の協働のまちづくり	問合せ先	企画課
中項目 基本施策	ふれあい豊かなまちづくり	職・氏名	協働推進係長・下林博樹
小項目 施策	地域間・国際交流	電話	0869-64-1871

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	外国人観光客及び外国人と交流する日本人(H18年度からは日本人のみの宿泊も可)
目的(何のために)	外国人に日本の文化に直接ふれてもらい、日本の良さ、備前市の良さを肌で感じてもらい、国際相互理解を推進する。
行政活動(どのような方法で)	国際交流ヴィラ運営協議会が宿泊者の予約、宣伝を行なう。市が無償で借り受け、備前市国際交流協会にチェックインや清掃などの管理委託を行なっている。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	多くの外国人に日本での生活を体験してもらうことで、国際相互理解を深める。日本のよさ、備前のよさをPRする。

事業の実績						
活動実績	実施項目					
	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績		
	ヴィラ利用者数	人	875	836	851	
	ヴィラ使用料	円	2,452,000	2,273,300	2,358,050	
	電話使用料	円	7,460	4,510	7,780	
	ヴィラ管理費用	円	2,813,975	3,564,783	3,170,636	
	ヴィラ管理人	人	1	1	1	
	事業費	直接事業費		2,814	3,565	3,171
		人件費	千円	600	840	524
		事業費計		3,414	4,405	3,695
財源		国県支出金			878	449
	受益者負担	千円	2459	2274	2366	
	一般財源		955	1,253	880	
必要人員	人	0.10	0.15	0.07		
結果指標	結果指標名					
	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績		
	ヴィラ利用者数	説明	事業費から見た結果指標			
	結果指標量	人	875	836	851	
	対前年比	%	-	95.5%	101.8%	
活動コスト	円	3,414,000	4,405,000	3,695,000		
単位当たりコスト	円	3,902	5,269	4,342		
結果指標	結果指標名					
	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績		
	ヴィラ利用者数	説明	一般財源から見た結果指標			
	結果指標量	人	875	836	851	
	対前年比	%	-	95.5%	101.8%	
活動コスト	円	955,000	1,253,000	880,000		
単位当たりコスト	円	1,091	1,499	1,034		

事業の成果			
成果指標名	利用者数(人)	式又は説明	ヴィラ利用者数
			17年度
			18年度
			19年度
成果指標量	875		836
対前年比			95.54%
			101.79%
到達目標値	900	到達目標年度	H21



事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	B
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	県内5箇所にある国際交流ヴィラのひとつ。所有者は岡山県で市が無償で借り受け、管理運営を行なっている。海外の多くの方が利用し、日本の古民家で生活する体験型の宿泊施設は、大変喜ばれている。平成18年度から日本人のみの宿泊も可能となり、対象者は広がったが、利用が伸び悩んでいる。今後は一般観光客等への積極的なPRが必要と思われる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率性評価<A-E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	現状ヴィラは、古民家かを移築したもので、建築より20年が経過する中、老朽化が進んでいる。施設の改修等が必要な時期となっており、小規模改修費については県から助成費用を交付されているが、今後は中・大規模改修も必要となる。費用負担についても県との協議の必要があるが、ある程度の費用負担が生じる可能性もある。	
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	有効性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	現状ヴィラは、古民家かを移築したもので、建築より20年が経過する中、老朽化が進んでいる。施設の改修等が必要な時期となっており、小規模改修費については県から助成費用を交付されているが、今後は中・大規模改修も必要となる。費用負担についても県との協議の必要があるが、ある程度の費用負担が生じる可能性もある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が妥当でない		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善している	有効性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	現状ヴィラは、古民家かを移築したもので、建築より20年が経過する中、老朽化が進んでいる。施設の改修等が必要な時期となっており、小規模改修費については県から助成費用を交付されているが、今後は中・大規模改修も必要となる。費用負担についても県との協議の必要があるが、ある程度の費用負担が生じる可能性もある。	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	利用者数は減少傾向にある。今後は日本人のみの宿泊についても積極的にPRしていき、備前市のもつ良さを発信していく必要がある。日本のもつふるさとの風景のある場としてフィルムコミッション等でも活用できる可能性がある。	
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	有効性評価<A-E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		

平成20年度の状況		説明	平成17年度までは日本人のみの宿泊は不可だったが、18年度以降は日本人のみでも可となっている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	3,800	結果指標量
	成果指標量		1,000
			890

総合評価		評価区分<A-E>	B
国際交流ヴィラは全国で岡山県だけに設置されており、日本文化に触れることができる施設として外国人にとっては大変好評である。今後は利用者の意見を参考に管理運営に努める。また、日本人利用者の拡大を推進する必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
	<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	PRにより利用者数の増加を図る。	随時	利用者数の増加によりコストダウンを図ることができる。